

チーム連携評価シート

評価日： 年 月 日

1 共有（目的意識を共有できているか）		1～5を選択
情報	多職種と患者の情報や変化を共有できているか 共有方法は適切か*1	
目的	多職種と患者の方向性（ゴール）や業務内容を共有できているか	
意識	チーム連携による介入効果を意識して業務に活かしているか チーム連携の必要性や利益を把握して活動しているか	
知識	チームによる研鑽は行われているか（チーム内勉強会、研修会など）*2	
課題	目標や活動が患者の状況にあったものか、定期的に状況にあった評価しているか	
	計画を実行するために必要な役割分担ができているか	
	患者ごとの目標を立てているか	
	会議の議題は明確か 多職種と日々の業務を効率化するよう工夫は行っているか	
2 計画（チーム活動は計画的に行われているか）		+
チーム活動の記録	活動の記録は記載しているか、活動記録は簡潔か	
定期的なチーム会議の開催	会議スケジュールを決め、実行できているか	
フィードバック	実施内容を評価し、チーム内でフィードバックしている	
	活動の振り返りを行い、課題を明確にできているか	
	課題に対して改善策を考え、実行に移しているか	
	活動のモニタリングを行い、必要に応じて計画を修正できているか*3	
	チームが計画変更や活動に対し抵抗感（熱量の差）無く、活動出来ているか	
3 内省（チーム連携、チーム活動に関し内省を行い、改善を試みているか）		+
改善策の検討	得られた効果に対し改善策を検討、もしくは予想される効果を検討する場はあるか	
計画の変更・修正（モニタリング）	立てた計画に対する問題点に、柔軟に対応できているか	
自職種・他職種の役割を理解	多職種に協力を依頼したい時間の相談ができているか	
	患者のリハビリや離床状況を見て現状を知る機会を設けている	
	院内の勉強会に参加し理解を深めている	
	自職種多職種の役割を理解し、適切に協力できているか	
	多職種の意見を尊重し、積極的に議論できているか	
	自身は多職種の効果を最大限に引き出せているか	
	多職種の業務内容などを考慮して協働できているか	
4 多職種連携（自職種・他職種の専門性に応じて活動が出来ているか）		+
積極性	積極的に多職種との連携をとっているか	
リーダーシップ	多職種間でリーダーシップを発揮し、連携を促進できているか	
多職種で構成	構成職種に偏りはないか チーム人数は適切か*4	
協力 ・チームメンバー間の協力姿勢 ・フォロー ・補完	患者や家族の希望を把握している	
	困りごとを多職種に相談している	
	チームの目的や方針を理解し、共有できているか	
開放 (忌憚のない意見を言い合っているか?)	必要な知識を相互に提供し、補完し合っているか	
	ミーティングでは全員が発言する機会がある	
	状況変化があった際は、ミーティング以外でも共有できる	
	風通しの良いコミュニケーション環境が整っているか	
	定期的なミーティングや情報共有の機会が確保されているか	
	簡潔な表現が行えているか 非言語的手段も用いているか*5	
5 コミュニケーション		+
言葉の理解（共通言語）	多職種にも理解を得られるよう言葉を選んだコミュニケーションを意識しているか	
環境（組織）	新しい物事への挑戦に肯定的な環境か 全員が理解できるまで議論が行われているか	
頻度・回数	自職種との業務におけるディスカッションは適宜行われているか*6 多職種との業務におけるディスカッションは適宜行われているか*6	
評価基準 1：実施できていない 2：あまり実施できていない 3：どちらともいえない 4：概ね実施出来ている 5：実施出来ている 活用方法 評価：5件法 評価期間：3～6ヶ月に1回 評価者：チームリーダーまたはチームメンバー 離床チームだけではなく、委員会等のチーム活動にも活用可能		
注意点 (Q & A) *1：多職種でわかりやすい共有方法となっているかを判断（例：共通のアセスメントシートの使用、電カル内でファイル共有しているなど） *2：チーム内で勉強会の開催や研修会の有無により判断する。 *3：活動のモニタリングとは、チーム・委員会での活動を適宜客観的に評価することを意味します。 *4：例：当会の E-MAT 登録の要件は、2職種3名以上です。 *5：院内メールや掲示板などの非言語的手段で、意見交換出来る機会があるかで判断する。（会議以外で） *6：各チーム内での活動を客観視し、相談の上での採点とする。		
II		合計